|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 和名 | コラ | 科名 | アオイ科 |
| 学名 | *Cola nitida* |
| 英名 | Kola nut | インドネシア名 | Kola |
| 原産地 | アフリカ | 用途 | 食、薬 |

高さ10ｍあまりになる常緑高木。

花は、1.5㎝ほどのクリーム色で、がくのみで花弁がありません。

果実は、長楕円形で長さ15～20cm。中に4～10個の種子があります。この種子は「コーラ・ナッツ」と呼ばれ、都市部の市場などで流通するナッツは、[クリ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AF%E3%83%AA)の実ほどの大きさで白色から赤色。実を少しずつ噛み砕いて楽しむ[嗜好品](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%97%9C%E5%A5%BD%E5%93%81)として用いられます。1～4％程度の[カフェイン](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A4%E3%83%B3)を含み、コーラ・ナッツを噛むと強い[渋み](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%8B%E3%81%BF)を感じるが、一時的に空腹感を減らすことが出来ます。常用すると[歯](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%AF)に[ステイン](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E3%82%B9%E3%83%86%E3%82%A4%E3%83%B3&action=edit&redlink=1)が付き茶色になることもあります。

嗜好品の多くが禁じられている[イスラム](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%83%A0%E6%95%99)文化においては、コーラ・ナッツは唯一許された[興奮](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%88%88%E5%A5%AE)剤であったため、産地である[熱帯雨林](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%86%B1%E5%B8%AF%E9%9B%A8%E6%9E%97)地帯ではほとんど消費されず、古くから[サヘル](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%98%E3%83%AB)地域や[サハラ交易](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%8F%E3%83%A9%E4%BA%A4%E6%98%93)においてもっぱら注目されて取引されていました。炭酸飲料として著名な[コーラ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%A9_%28%E9%A3%B2%E6%96%99%29)はコーラ･ナッツのエキスを用いていたところからその名がつけられました。ただし、現在はエキスを用いず作られるコーラがほとんどです。